ロボット芝刈機登場

ハスクバーナ・ゼノア 緑地管理機器を展示

渡邉社長

ハスクバーナ・ゼノア＝渡邉安郎社長、埼玉県川越市南台1―9＝は、幕張メッセで10月12～14日に開催する『農業ワールド2016』内の「第6回国際道工具・作業用品EXPO」に出展。ロボット芝刈機「オートモア」をはじめ、高性能バッテリー商品を展示。〝サイレントシティ〟という緑化管理の未来形を紹介する（小間番号35―32）。

まるでスポーツカーのようなスタイリッシュなボディながら美しい芝を維持――。これがロボット芝刈機「オートモア」だ。境界ワイヤーで囲まれたエリアの中をランダムに芝を刈り込み、バッテリーがなくなりそうになると自ら充電ステーションに戻って充電し、満充電になると再び芝刈り作業を行う同機。刈高調整の設定が可能で、GPS内蔵により作業範囲をマッピングし、その情報をもとに芝刈りパターンを徐々に調整するほか、低騒音なため早朝や夜間でも稼動しても迷惑にならず、雨天でも自動で芝刈りを実施。毎日伸びる前に作業をするので、面倒な集草作業なしで芝管理ができる点などから、学校や企業施設の管理アイテムとして注目を集めている。

集草作業なしで芝管理ができ好評

会場では最大作業領域3200㎡の「330X」を展示。5月より1500㎡までの広さに適した「315」を発売し、ラインナップを増やしている。

その他展示予定製品は次の通り。

【バッテリーチェンソー536Li XP】今までの電動工具のチェンソーとは全く別物の使用感。35ccクラスのエンジンチェンソー並みのパワフルで、軽量なバッテリーチェンソー。大工仕事や、薪割り、都市部の園ワークに最適な製品。

【バッテリー刈払機】ボタン一発始動で、初心者からプロまで納得のパワフル性能。10″チップソーとタップヘッドの両方が楽で、操作性がアップ②扇型ノズルを採用、噴霧口角度が自在になり葉裏散布を可能にした③8カ所の噴口に、それぞれトップ機構（止水）を付け、無駄な散布を解消した④噴霧管左右にバルブを取り付け、片側だけの散布も可能⑤作業者に合わせて、ハンドルの高さが調整できるーなど。

【主な仕様】▽寸法＝タイヤ幅410×全奥810×全高1740～990×全高1740～1090㎜▽質量＝16・4㎏▽ハンドル高＝800～980各㎜▽吐出量＝7.7ℓ／分（2.0MPa時）▽水入口＝G3／8及びG1／4。

同社は、今回紹介した商品以外にも、噴霧機など多彩な製品を取り扱っている。詳細はHPで。http://www.nagataseisakusyo.co.jp

刃物のアルスをPR

アルスコーポレーション 道工具・作業用品展に

ブース構成は試し切りがメイン

アルスコーポレーション＝滝川重隆社長、大阪府堺市中区八田寺町47＝は、10月12～14日に幕張メッセで開催される「第6回国際道工具・作業用品EXPO」に出展。刃物のアルスと言われる同社製品の試し切りをメインに、ブースを構成する。同展示会は、農業ワールドと同時開催。

出展製品は、大工・園芸用鋸、剪定鋸、高枝鋸、剪定鋏・園芸鋏・生花刃物、摘果鋏・採果鋏・採収鋏、高枝鋏、刈込鋏・高枝切り鋏、電動式・エアー式刃物等。

農業関連は、同社主力製品で切れ味・耐久性ともに、現場での酷使に耐えるプロ仕様の剪定鋏VSシリーズ。細かな刃先で摘果・収穫作業に最適な摘果鋏・採果・採収鋏を各種取り揃えて展示。超軽量で伸縮式、女性や高齢者でも扱いやすい各種高枝鋏シリーズ。

同社独自の鋏の技術を結集し〝鋏の集合体〟ともいえる、スイングカット方式という機構を採用した葉刈仕上げの電動バリカン。軽量・ハイパワーで、長時間プロの作業をサポートする充電式剪定鋏も試し切りできる。

校庭の芝生管理

IHIシバウラ 大阪・大桐小をバックアップ

芝生の貼り付け作業の様子

熱心に芝生の世話をする児童ら

IHIシバウラ（代田精一社長）は、10月1日に大阪市東淀川区の市立大桐（だいどう）小学校で行われた、校庭芝生化の芝生管理作業にアドバイザーとして参加した。同社は、小学校に限らず大阪府下の学校の校庭芝生維持管理のための支援活動を、企業ボランティア（CSR）の一環として行っている。芝生に関する専門的な技術・知識を活かし、芝生化実施学校に対して、年間を通じた芝生の維持や管理、現場作業の指導、座学等の活動を実施している。

当日は、井出一志教頭の司会進行で、松尾雅司町会長、野崎輝夫大桐小学校校長が「年に何度も作業してもらい感謝している。今年度の芝生は1000㎡から2000㎡に増える。今後も皆様の協力をお願いする」と挨拶。内山茂IHIシバウラ機械事業本部グリーン機器営業グループ課長が、芝の種類の説明や手入れすることの大切さ、作業時の安全に対する注意があり、作業に入った。参加者は、学校関係者、PTA、地域住民、児童等約100名。

大桐小学校は、学校とPTA、地域住民が一体となり、校庭芝生化に積極的取り組んでいる稀有な学校。同校は、学校に義務付けられている「学校協議会」と連動した「芝生実行委員会」を4年前に設置。学校運営に関する協議を行う時は必ず、校庭芝生化も議題に上がるような仕組みを作った。そして、年間を通しての芝生管理作業工程作成、研修、芝生維持管理のための寄付や予算の確保等を行い、地域住民を主体にした組織を作り上げて軌道に乗せた。

井出教頭は「学校が存続する限り、芝生化実行委員会が存続するようにしていきたい」と話す。

IHIシバウラは、今後も専門的な知識と技術を提供するアドバイザーとして協力していく。

高品質なレンコンを出荷

田村蓮根部会の朝比将さんに聞く

現地ルポ

田村蓮根部会の自慢のレンコン

FHフィルムで包み出荷する

以下、朝比さんへのインタビュー。

――田村蓮根部会としては、高品質なレンコンを栽培の制度ができた12年前からこの認証を受けている。これは、減農薬、減肥料という点が認められたもの。化学肥料に頼らない環境にやさしい農業を心掛けている」。

――FHフィルムを使うきっかけは。

「我々が一番憂慮しているのは、消費者に届くまでの時間。

出荷するということ。

まず、県からは、特別栽培農産物を生み出している。なかでもレンコンは日本一の産地として広く知られ、中でも「田村蓮根部会」のレンコンは高品質なレンコンと評価が高い。そして、その品質を保つのに一役買っているのが、サーモの鮮度保持袋「FHフィルム」だ。JA土浦中央支店営農生活課の朝比将課長に話を伺った。

サーモの「FHフィルム」が強い味方

土浦市は霞ケ浦と筑波山に囲まれ、良質な農産物を生み出している。なかでもレンコンは日本一の産地として広く知られ、中でも「田村蓮根部会」のレンコンは高品質なレンコンと評価が高い。そして、その品質を保つのに一役買っているのが、サーモの鮮度保持袋「FHフィルム」だ。JA土浦中央支店営農生活課の朝比将課長に話を伺った。

出荷するということ。

まず、県からは、特別栽培農産物を生み出している。なかでもレンコンは日本一の産地として広く知られ、中でも「田村蓮根部会」のレンコンは高品質なレンコンと評価が高い。そして、その品質を保つのに一役買っているのが、サーモの鮮度保持袋「FHフィルム」だ。JA土浦中央支店営農生活課の朝比将課長に話を伺った。

――田村蓮根部会としては、高品質なレンコンを栽培の制度ができた12年前からこの認証を受けている。これは、減農薬、減肥料という点が認められたもの。化学肥料に頼らない環境にやさしい農業を心掛けている」。

――FHフィルムを使うきっかけは。

「我々が一番憂慮しているのは、消費者に届くまでの時間。

そこで30年前からFHフィルムを使用している。それまで、新聞でくるみ出荷したりしていたが、このフィルムを使いはじめてから品質の良いレンコンが鮮度を保った状態で出荷できるようになり、市場からはさらにレンコンの評価が上がった。いまでは、全国どこでも安心して出荷することができ、部会内でも喜んでいる」。

――今後の展望は。

「部会として市場ばかりの流通ではなく、他の流通へも拡大していきたいと思っている。いまは、市場と一緒にイベントを行い、消費者の生の声を聴き、生産に生かして、全国に〝田村蓮根〟のブランドを広めていきたい」。

◇

「FHフィルム」は、栃木県産の大谷石を粉砕して練り込んだポリエチレンフィルム。地元では大谷石の洞窟の中に青果物を保存しておくと、鮮度が長持ちすることが古くから知られている。

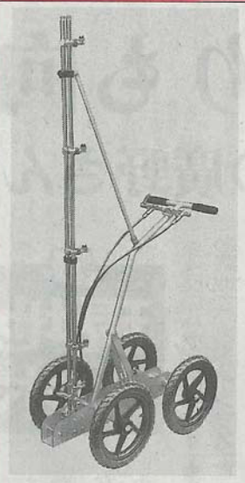
これは大谷石が多孔質の石でありその穴が野菜の生長を促進させるエチレンガスを吸着透過するため。大谷石を練りこむことでエチレンガスを始めとする鮮度保持に有害な物質を吸着透過することができる。

◇

【問合せ先】サーモ▽東京都中央区日本橋小網町1―8▽電話＝03―5623―2441▽HP＝http://www.ther-mo.co.jp/

立木野菜・花卉用

永田製作所が発売


手動式スプレーバギー8

手動式の薬剤散布機

永田製作所＝田中寿和社長、大阪市西淀川区千舟1―5―41、電話06―6473―0835＝は、立木野菜・花卉用の手動式薬剤散布機「スプレーバギー8（エイト）」を開発、発売を開始。

本機は、パイプ左右に散布用の扇型噴口を4ケ所（計8ヵ所）設置した構造。足回りは四輪のノーパンクタイヤを採用。薬剤は全ての登録農薬が使用できる。

【主な特長】①低重心で安定感のある大型四輪タイヤにより、移動と走行が楽で、操作性がアップ②扇型ノズルを採用、噴霧口角度が自在になり葉裏散布を可能にした③8カ所の噴口に、それぞれトップ機構（止水）を付け、無駄な散布を解消した④噴霧管左右にバルブを取り付け、片側だけの散布も可能⑤作業者に合わせて、ハンドルの高さが調整できるーなど。

【主な仕様】▽寸法＝タイヤ幅410×全奥810×全高1740～990×全高1740～1090㎜▽質量＝16・4㎏▽ハンドル高＝800～980各㎜▽吐出量＝7.7ℓ／分（2.0MPa時）▽水入口＝G3／8及びG1／4。

同社は、今回紹介した商品以外にも、噴霧機など多彩な製品を取り扱っている。詳細はHPで。http://www.nagataseisakusyo.co.jp

超小型の気流粉砕機

西村機械 乾湿対応で微細米粉生産

超小型気流粉砕機フェアリーパウダーミル

米粉製粉機のパイオニア・西村機械製作所＝西村元樹社長、大阪府八尾市松山町2―6―9＝は、農業ワールド・6次産業化EXPOに初出展する。新製品の超小型気流粉砕機や、米粉パンに最適な乾湿対応の気流粉砕機、小袋軽量充填装置等を実機展示する。また、今注目のグルテンフリー・新素材アルファ化米粉の研究発表も行う。

新製品の超小型気流粉砕機「フェアリーパウダーミル」は、自動供給ホッパー、超小型気流粉砕機、捕集装置、運転コントロールパネルで構成。

従来品と比べ超小型な製品で、粒子のコントロールと澱粉損傷を極限まで抑えることを可能にした。より広い用途で使えるように、価格も従来品の半分程度に設定。パン屋やラーメン・うどん店、調理加工用の店舗用タイプと、各種研究用ラボタイプの2型式を用意している。

【主な特長】①米同士が適度な衝突を繰り返す自己粉砕方式で、澱粉の細胞を損なわず細かい粒子に仕上げる②超高速気流で粉砕熱を軽減し、高品質な米粉を作る③乾式、湿式、玄米、色素米対応が可能④粒子サイズコントロールが容易⑤ホッパーは、自動で米をチャージ。可変式でチャージ量を任意に変更できる⑥オペレーター供給時の安全対策として、自動停止及びパネル表示機能を装備⑦工具なしで分解が可能⑧運転時の機械音が静か⑨コンパクトで場所を取らない。

【主な仕様】▽寸法＝全幅100×全奥50×全高80各㎝、コントロールパネルは別▽運転＝自動と手動が選択可能▽生産能力＝乾式は1時間5㎏、湿式は1時間10㎏。

逆回転ハサミ刈り

刈払機用のアタッチ好評

アイデック＝伊東潤弥社長、兵庫県加西市北条町栗田182＝は、草刈り作業を安全に効率よく快適に行える、逆回転ハサミ刈り式刈払機用アタッチメント「スーパーカルマーPRO」＝写真＝を幕張メッセで開催する、道工具・作業用品EXPOに出展、安全性をPRする。

〝スーパーカルマーPRO〟は、逆回転ハサミ刈り式で、草刈り時の飛石やキックバック等による事故防止に威力を発揮する。道路周辺の除草や水田の水際での作業も安全に行える。また、農業分野のほか、公共分野でも、除草を行う際の安全対策として使用されている。

このアタッチは、過酷な現場における使用頻度のさらなる増加に対応して、より強くかつ経済的に使用できる製品として開発したもの。

主な特長は①ギヤユニットを強化。衝撃や摩耗に強い〝フリーローラー〟を内蔵、粉塵や泥水などに強い〝シール&ラビリンス構造〟を採用②万が一故障しても、ギヤユニットは〝カンタン分解構造〟で、修理メンテナンスが楽に行える。駆動ピニオンギヤは摩耗しても、リバーシブル設計で2回使用できる。さらに、ギヤやローラー1個から交換可能で、破損パーツを必要分のみ交換修理できるため、経済的・省資源③手持ちの刈払機に取付けできる。付属のアダプターで、ほとんどのエンジン刈払機に取付けが可能―など。

また、回転力と遠心力を組合わせ、強力なフリーハンマー方式により、短い雑草を根元から粉砕する「うね草取りまー」は、発売以来好評。刃がカバーで覆われているため、作物を傷めず作業ができる。場所に合わせるタイプを準備。

東明テックのヒット商品!家庭用・業務用食品乾燥機
▶こちらの商品は「6次産業化EXPO」にも出展しています。ご来場の際には是非弊社ブースにお越しください。
「プチマレンギDX」 PHOTO TTM-440N W440mmxD335mmxH400mm
大好評
コンパクトな家庭用でも大容量! 大好評販売中!プチマレンギ。 PHOTO TTM-435S W435mmxD310mmxH310mm
安心!安全! 操作簡単! タイマー機能 大容量(3kg)
近赤外線食品乾燥機マレンギ ～大好評販売中～ ネット販売はwww.tohmei-tech.jp PHOTO PS-2000A
サイズ ●PS-5000A W1mxD1.1mxH1.85m ●PS-2000A W0.75mxD0.81mxH1.68m ●PS-1000A W0.75mxD0.81mxH1.32m
お問合せ資料請求は TOHMEI 東明テック株式会社 〒532-0002 大阪市淀川区東三国6丁目17-17 TEL:06-6335-7790 FAX:06-6395-1110 http://www.tohmei-tech.com

鮮度保持包材 SUPER FRESH スーパーフレッシュ 抗酸・抗菌・保水・鮮度・抗カビ 【特許取得・商標登録出願済】
天然素材の高機能ポリフェノール抗酸化効果に天然糖質トレハロース・プラチナを使用して開発された革新的包装資材です。
オリジナル印刷袋・OP防曇袋(規格品)・OP野菜フィルム(名入)・紙トレー・不織布・ウレタン・ミラマット・緩衝剤・米袋・農産物用ダンボール箱・ホタテクト(PH12.5 鮮度、殺菌、消臭)・サンカルシウム(土壌改良剤)・ナノ・フレッシャー(殺菌、鮮度)・害獣忌避装置など多数取り扱っております。
PEARL PACKAGE PLANNING ゆたかさをつつむ……トータルパッケージ 株式会社 パールパッケージ企画
○本社・工場 〒994-0061 山形県天童市東芳賀二丁目2-32 TEL 023-658-3038 FAX 023-655-6008
○関東営業所 〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1-10-36シャトレ川新 TEL 048-424-2267 FAX 048-424-2382
ホームページ http://www.pearl-p.jp Eメール office@pearl-p.jp

ラインナップを豊富に用意しています ローラコンベヤでラクラク農作業!!
おかげさまで70周年 70th Anniversary
サビにくくて軽く、持ち運びがカンタン。 苗箱搬送、収穫・出荷など 色々な場面で大活躍!!
MRN38 301030
MRN38型 樹脂ローラーコンベヤ ・コンベヤ幅:360㎜(ローラ300㎜) ・ローラピッチ:100㎜間隔 ・コンベヤ長さ:3,000㎜ ・コンベヤ自重:12.4kg
QRコードで動画がご覧になれます!
MISUZU 三鈴工機株式会社 本社 〒510-0103 三重県四日市市楠町北五味塚530番地 TEL 059-397-3220 東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目2番1号 大門KSビル3F TEL 03-3434-2936 大阪支店 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2丁目10番20号 南船場溝呂木ビル5F TEL 06-6241-1091

IDECH 刈払機アタッチメント お手持ちの刈払機に取付け可能
スーパーカルマー 水キワも安全!! 逆回転ハサミ式
うね草取りまー 畑のうね間 フリーハンマー式
ウィードシェーバー 砂利ごと削る!! シングルローター
水草取りまー 条間・株間に最適 ツインローター
IDECH 株式会社アイデック IDECH CORPORATION 〒675-2302 兵庫県加西市北条町栗田182 TEL.(0790)42-6688 FAX.(0790)42-6633 E-mail:info@idech.co.jp HP:http://www.idech.co.jp
今すぐ動画をCheck!
TOOL JAPAN 2016 2016年10月12日～14日 幕張メッセ6ホールNo41-42 出展&実演

農薬ニュース

来年5月に経営統合

クミアイ化学とイハラケミカル

小池社長

望月社長

クミアイ化学工業（小池好智社長）とイハラケミカル工業（望月眞佐志社長）は、9月24日付で、両社の経営統合に関する基本合意書を締結したと発表した。今後、12月中旬を目途に最終契約を締結し、平成29年5月1日の本統合を目指す。

両社は、これまで共同で新農薬を創製、開発し、イハラケミカルが原体を製造し、クミアイ化学が製品化と販売を行うという製販分離体制の中で、相互に役割を補完し合いながら事業を進めてきたが、昨今の国内外の農業・農薬事業を取り巻く環境の大きな変化のなかで、競争に勝ち残り企業価値の最大化を図るためには、両社の統合が最善であるとの結論に至った。

統合は、クミアイ化学が存続会社となり、イハラケミカルが消滅会社となる吸収合併方式で行われ、イハラケミカルは、上場廃止となる見込み。

なお、合併比率や統合後の経営体制などは、今後、両社の協議の上で決定するとしている。

殺虫剤を開発始　BASF

BASFジャパンはこのほど、農業用殺虫剤Ｉｎｓｃａｌｉｓ（ＢＡＳＦ登録商標、「インスカリス」、ISO名：afidopyropen）の日本での開発を開始。

インスカリスはアブラムシ類、コナジラミ類、カイガラムシ類などの害虫防除に高い効果を発揮し既存殺虫成分に対して薬剤抵抗性を獲得したこれらの害虫の防除にも有効な、新しい作用機構を有するピロペン系に属する新規有効成分。野菜や果樹。畑作物など幅広い作物に使用することができる。

インスカリスは糸状菌の醗酵産物をもとに学校法人北里研究所北里生命科学研究所の大村氏―砂塚氏のグループとＭｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａファルマが共同で見出した。

ＢＡＳＦは2010年5月に締結したＭｅｉｊｉとのライセンス契約に基づいて同材の開発を全世界で進めており、国内における独占開発・商業化権についてＭｅｉｊｉと合意し開発を開始。

ＴＶ番組放送開始　農薬工業会

農薬工業会は、10月7日から5分番組のシリーズ放映を始めた。

これは農薬工業会が展開しているパブリシティ番組を活用し農薬についての情報を一般に提供することを目的としているもの。同事業では消費者等の多くの人に農薬について正しく理解してもらうため、テレビの企画

今回は「食の社会科見学」をテーマに農薬の役割や安全性を紹介する。

【詳細】▽番組名＝「オードリー春日の知っとくベジライフ」▽放送局＝ＢＳ―ＴＢＳ▽放送時間＝10～12月の毎週金曜日20時54～59分、全10回▽出演＝オードリー春日俊彰。

ジャガイモシロシストセンチュウ　Ｄ―Ｄ剤が農薬登録

ジャガイモシロシストセンチュウはじゃがいもなどナス科の植物の根に進入し寄生植物の生育を阻害するため、作物が枯死。収穫量の著しい低下をもたらすとして、国内への侵入を警戒していた。しかし、2015年8月に農水省が北海道で国内初の発生を確認。

初確認以降、有効な防除法がなかったため、農水省と北海道はＤ―Ｄ剤と対抗植物を活用しジャガイモシロシストセンチュウの根絶を図れるようＤ―Ｄ剤の農薬登録を検討しており、今回農薬登録を取得。ばれいしょへの使用が新たに可能になったと発表した。

ジャガイモシロシストセンチュウはじゃがいもなどナス科の植物の根に寄生するセンチュウ。

1，3―Ｄ技術協議会（アグロカネショウ、エス・ディー・エス バイオテック、鹿島ケミカル、ダウ ケミカル日本）は10月5日、土壌くん蒸剤「Ｄ―Ｄ剤」（有効成分：1，3―Ｄ）が「ジャガイモシロシストセンチュウ」に対応する農薬登録を取得。ばれいしょへの使用が新たに可能になったと発表した。

今後、イハラケミカルが製品化と販売を行うＤ―Ｄ剤の農薬登録を検討しており、今回農薬登録を取得したもの。

土壌くん蒸剤「Ｄ―Ｄ剤」は「Ｄ―Ｄ」「ＤＣ油剤」「テロン」「旭Ｄ―Ｄ」などの商品名でそれぞれアグロカネショウ、エス・ディー・エス バイオテック、ダウ・ケミカル日本が販売している。

光選別機を世界中に

コーヒー、胡椒など穀物外にも

ベトナムで開かれたセミナー

サタケ＝佐竹利子代表、広島県東広島市西条西本町2―30＝では光選別機の販路を世界三大穀物以外の市場にも拡大、既にベトナムのコーヒー、東南アジア（インドネシア、インド）の胡椒などで確実に実績を伸ばしているが、この分野の更なる需要を取り込むべく、セミナーの開催や展示会出展に力を入れている。また食品以外の分野への事業拡大も図る。

同社は約10年前、コーヒー輸出大国のベトナムでコーヒー豆の選別を行う光選別機の販売を開始したが、現在、累計100台以上の光選別機が稼働、コーヒー用光選別機などだけでなく、新たに中小業者への浸透を図るため